

業種別景況予測

2019年7月～9月

						
	特に好調	好調	まあまあ	やや不振	不振	きわめて不振
部会	4～6月 (実績)	7～9月 (見通し)	概況			
寝装 リビング			「前途不透明感あり、10～12月のシーズンに向かって、色々工夫して前進したい」「原材料の上昇が経営を圧迫している状況」とのコメントが寄せられた。			
繊維 ファッション			「レディース、メンズ、子供服の全ての業界で悪化」「消費者の購買は、低価格のものに集中している」「今年度の業界の回復は、見込めない」とのコメントが寄せられた。日銀さくらレポートによると、訪日外国人客向けの販売は、中国人客の増加が続くも、ハイブランド衣料等の高額品を中心に過去最高水準で推移している様子。			
工業			「中国の環境規制により、材料が値上がり、運送費の増加傾向が昨年より続いているため、売価への転嫁を行っている」「人手不足」とのコメントが寄せられた。			
建設			「原価高騰のまま高止まりしている」とのコメントが寄せられた。日銀さくらレポートによると、雇用や所得環境の改善が続くも、住宅取得ニーズが根強いことから、都心部周辺などで、分譲マンションの着工が増加している様子。			
運輸倉庫			「近辺の倉庫のスペースに空きが無く、南港や神戸の配送業者から空きスペースの問合せが有るものの、受け入れが難しい状況」「人手不足が進んできた」とのコメントが寄せられた。日銀さくらレポートによると、人手不足解消のため、貴重な戦力となっている非正規社員の繋留や士気向上を高めようと、今年度から家族手当や子ども手当の新設、深夜手当の拡充などを実施する様子。			
金融理財			「昨年9月の台風21号の影響がまだ多く残っており、それに伴う工事が新築工事になるなどしている(建築事務所)」「顧問先の廃業や経費削減により、売上や顧問先が減少した(税理士業)」「ゲリラ豪雨や台風の被害、若者の車離れなどで、損保業界全体の収益が悪化している(損害保険代理業)」とのコメントが寄せられた。			
一般商業			「ジェネリック医薬品の利用が増える一方、ジェネリック医薬品は安価なため、売上金額が減少傾向にある。ただ、利益率は前期に比べ約2.5%アップしている(薬剤小売)」「5月の10連休は売上増加したが、その反動で6月は悪かった(食肉小売)」「世間の状況を見ると、生活必需品以外は、売れにくくなっていると思う(菓子小売)」とのコメントが寄せられた。			
サービス業			「ホテルやフライトなどの予約をインターネットで予約する方が増えている(旅行業)」「景気が良くなっていると感じない、消費税増税でますます厳しい予感がする(飲食店)」「人手不足が著しく、新規事業など、色々な事に手が回らず苦しい(飲食店)」とのコメントが寄せられた。			

(調査概要) ●調査実施 令和元年7月 ●調査対象企業 285社 ●回答数130社

管内企業をとりまく諸条件を考慮し、各企業が「景況」をどのように予測しているのかについて、継続的に調査し発表しています。調査は、四半期毎にとらえており、通常の季節的動向が理解できるようにまとめました。この「景況予測」が「結果」と比べてどうであったか、また、各々の業界対策・企業経営の一つとして、参考にしていただければ幸いです。

～調査機関～ 泉大津市田中町10番7号 泉大津商工会議所 経営支援課 TEL 0725-23-1111